

①研究課題名

悪性腫瘍による壁外性尿管閉塞に対して尿管ステントを用いた臨床的検討

②研究責任者

泌尿器科部長 松浦 浩

③研究の意義・目的

悪性腫瘍の進展による壁外性尿管閉塞(malignant extrinsic ureteral obstruction、以下MUO)に対しては尿管ステント留置や腎瘻によりドレナージを図ることが一般的であります。その厳密な適応についての一定見解は今のところ得られていません。患者のQOL(生活の質の向上)も考慮した場合、臨床現場ではその適応に苦慮することが多いことが実情であります。当科ではMUOに対しては主にバードインレイステントパックの6Fr、側孔なしのタイプを使用していることが多く、当院単一施設における、尿管ステントとして単一のステントを用いたドレナージ後の成績をretrospectiveに評価を行うことにより、今後のMUO患者の診療に益するものが大きいと思われれます。

④研究対象

2011年3月より2016年4月までにMUOに対しバードインレイステントパック[®]の6Fr、側孔なしのタイプを尿管ステントとして留置した38例52尿管を対象にステント不全と臨床的因子や原因疾患との関連について後方的視的な臨床統計を行う。

⑤個人情報の保護について

臨床統計であるため個人を特定できるような要因はなく、個人情報が外部に漏洩することはありません。

⑥問い合わせ先

地方独立行政法人三重県立総合医療センター

泌尿器科医師 松浦 浩

Tel: 059-345-2321 (代)